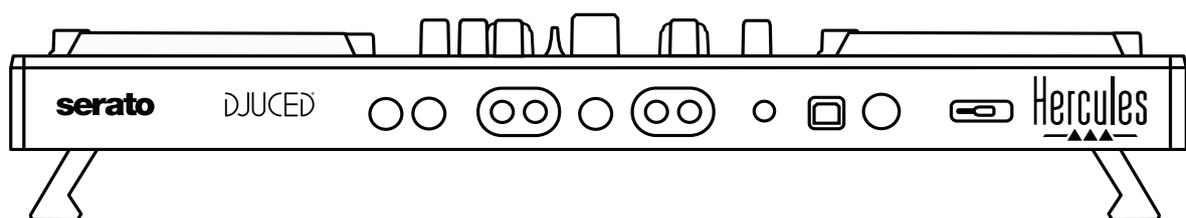
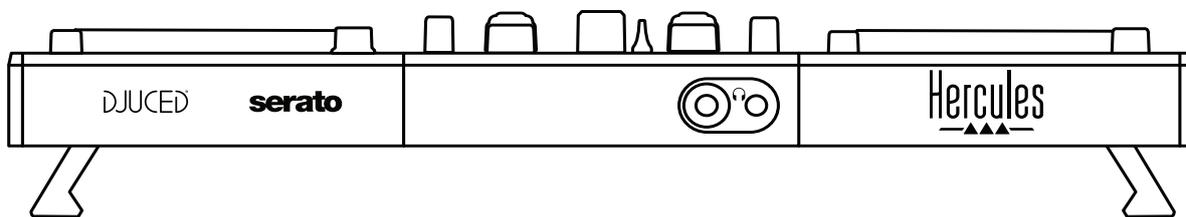
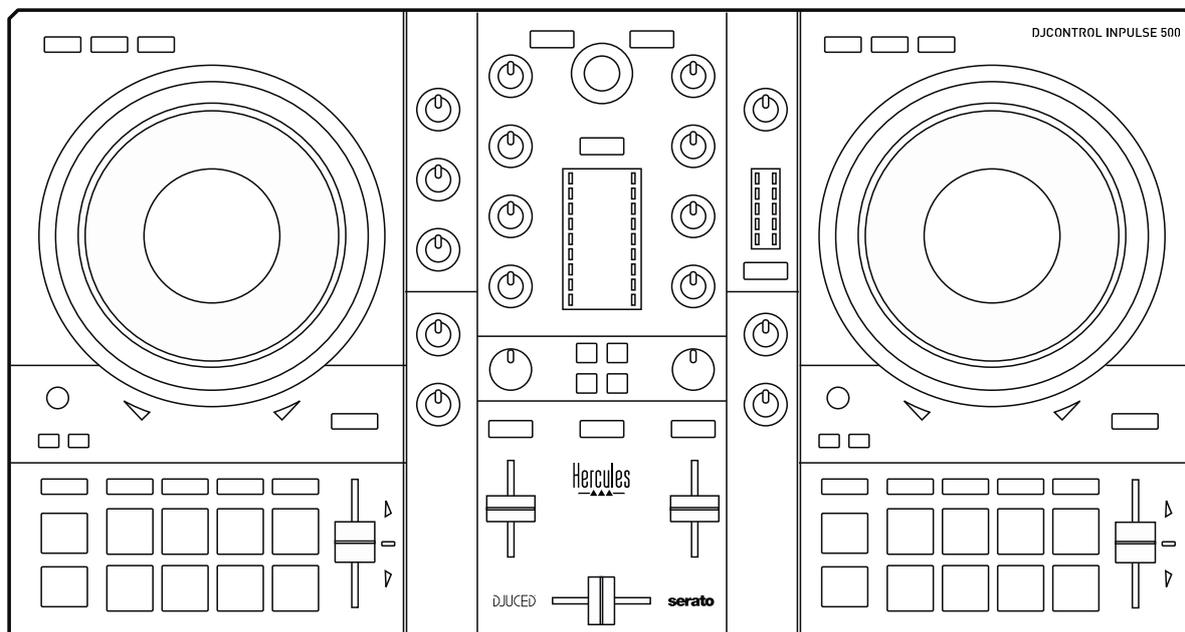


ユーザーズマニュアル

DJCONTROL IMPULSE 500

1. 概要



2. ボックス内容

- Hercules DJControl Inpulse 500
- USB ケーブル
- インストール・クイックスタートガイド
- 保証書

3. コントローラー仕様

3.1. 機械的仕様

- 寸法: 54 x 29.6 x 5.6 cm (幅 x 奥行き x 高さ、脚を折りたたんだ状態) - 54 x 29.6 x 9.1 cm (幅 x 奥行き x 高さ、脚を伸ばした状態)
- 重量: 3.2 kg

3.2. 技術仕様

1. USB MIDI コントローラー:

2 デッキ

- トランスポートボタン 4 個 x 2: SHIFT / PLAY / CUE / SYNC
- パッド 8 個 x 2 セット = 計 16 個、パッド用モードボタン 4 個 2 セット = 計 8 個 (HOT CUE、LOOP、SLICER、SAMPLER、MODE 5、MODE 6、MODE 7、MODE 8)
- 3 LOOP コントロール x 2: 各デッキに LOOP IN と LOOP OUT ボタン、各デッキに LOOP SIZE ロータリーエンコーダー 1 個と内蔵プッシュボタン、Reloop (ループを終了)
- モードボタン 3 個 x 2: Vinyl / Slip / Quantize
- 2 個の静電容量式ジョグホイール
- ピッチフェーダー 2 個
- ライトガイド 2 個 (Tempo と Phase) が 2 セットあり、ビートマッチングに役立ちます。

ミキサー

- ナビゲーションコントロール:
 - 音楽ライブラリーのナビゲーション用プッシュボタン内蔵ロータリーエンコーダー 1 個、マスタートラックのエネルギーレベル表示用バックライト内蔵リング 1 個
 - トラックをデッキ (バーチャルターンテーブル) にロードするためのボタン 2 個
 - 再生するトラックを選択するための Assistant ボタン 1 個
 - Beatmatch Guide ボタン 1 個
- デッキミキシングコントロール:
 - HIGH (高音)、MID (中音)、LOW (低音) の周波数つまみを備えた 3 バンドイコライザー 2 個
 - デッキゲインつまみ 2 個
 - デッキボリュームフェーダー 2 個
 - デッキボリューム VU メーター 2 個、各 9 レベル
 - ヘッドフォンでのデッキのモニタリングを有効/無効にするためのボタン 2 個、およびヘッドフォンでのマスター出力のモニタリングを有効/無効にするためのボタン 1 個
 - クロスフェーダー 1 個と、3 種類のクロスフェーダーカーブを選択するためのスイッチ 1 個

- Filter/Fx コントロール:
 - フィルター/エフェクトつまみ 2 個
 - フィルター/エフェクトつまみで制御されるエフェクトを有効にするための 4 個のエフェクトボタン。
- 入出力用ミキシングコントロール(ハードウェア経由):
 - マイク入力マイクボリュームつまみ 1 個、HIGH (高音)、LOW (低音) 周波数用マイクイコライザーつまみ 2 個、2 色 VU メーター 1 個 (オフ = オーディオ信号なし/緑 = オーディオ信号/赤 = オーディオ信号飽和)(ハードウェアによる調節)
 - Aux 入力: 補助入力ボリュームつまみ 1 個、補助フィルターつまみ 1 個 (ハードウェアによる調節)、2 色 VU メーター 1 個 (オフ = オーディオ信号なし/緑 = オーディオ信号/赤 = オーディオ信号飽和)(ハードウェアによる調節)
 - ヘッドフォン出力: ヘッドフォンボリュームつまみ 1 個、ヘッドフォンで聴く音を選択するための Cue/Master つまみ 1 個 (ハードウェアによる調節)
 - Master 出力: マスターボリュームつまみ 1 個、マスター VU メーター 1 個 (5 段階、ハードウェアによる調節)

2. 内蔵マルチチャンネル オーディオインターフェース

オーディオ解像度: 24 ビット

サンプルレート = 44.1 kHz

出力:

- スピーカー出力 (= 1-2): RCA 出力 x 2 + 6.35 mm ジャック出力 x 2
- ヘッドフォン出力 (= 3-4): 3.5 mm ステレオミニジャック + 6.35 mm ステレオジャック出力

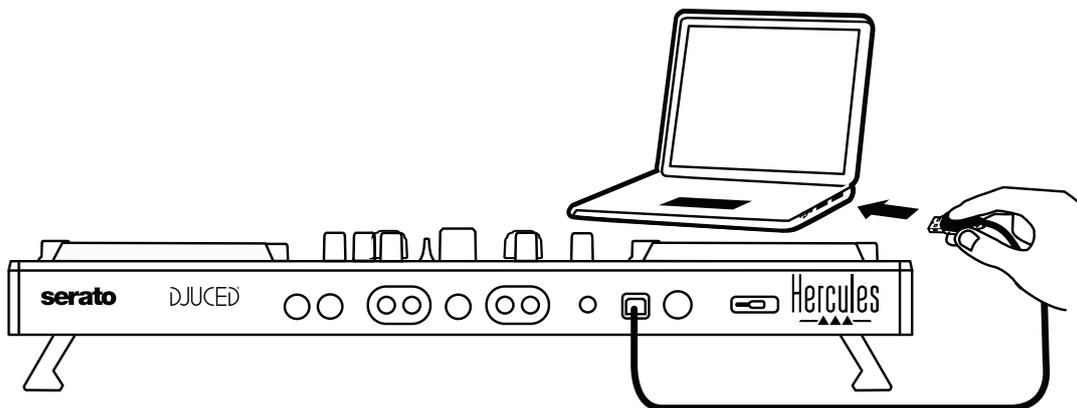
入力:

- AUX 補助入力 (= 1-2): RCA 入力 x 2 + 3.5 mm ステレオミニジャック入力 x 1
- MIC マイク入力: バランス 6.35 mm ジャック入力

4. インストール

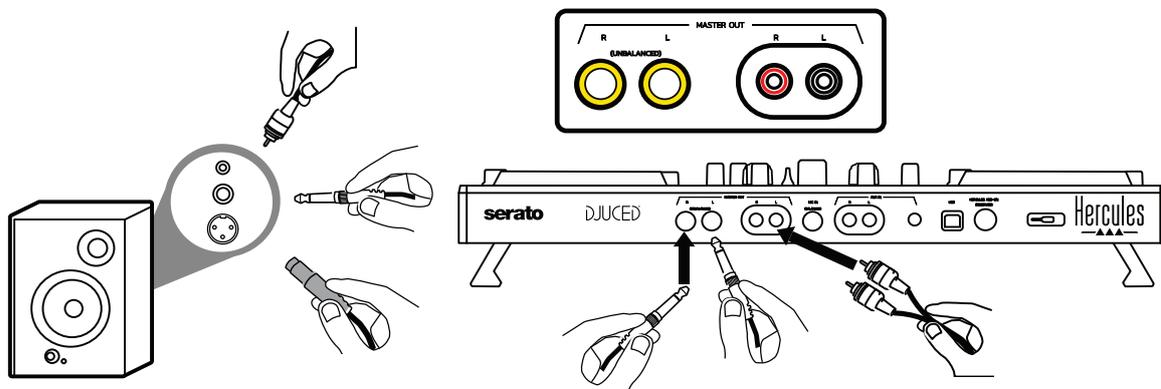
4.1. 接続

1. コンピュータへの接続 (USB)



注: コントローラーをコンピュータに接続するたびに、LED 点灯シーケンス (Vegas Mode と呼ばれます) が起動するため、LED の配置を確認できます。

2. スピーカーを接続する

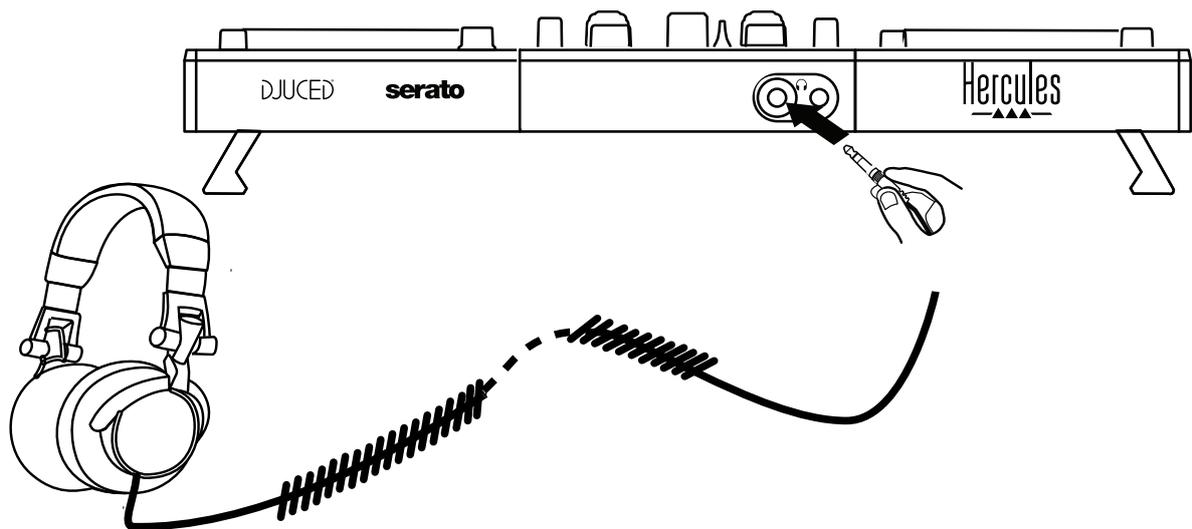


アクティブスピーカーの入力を DJControl Inpulse 500 の Master 出力に接続します (RCA x 2 または 6.35 mm ジャック x 2)。

たとえば、片方の出力コネクタをメインスピーカーに接続し、もう片方の出力コネクタをモニタースピーカーに接続することで、両方の出力フォーマットを同時に使用することができます。

3. ヘッドフォンを接続する

DJControl Inpulse 500 のフロントパネルにある 6.35 mm ステレオジャック出力、または 3.5 mm ステレオミニジャック出力にヘッドフォンを接続します。



4.2. ソフトウェアのダウンロード

1. Serato DJ Lite

<https://serato.com> にアクセスします。



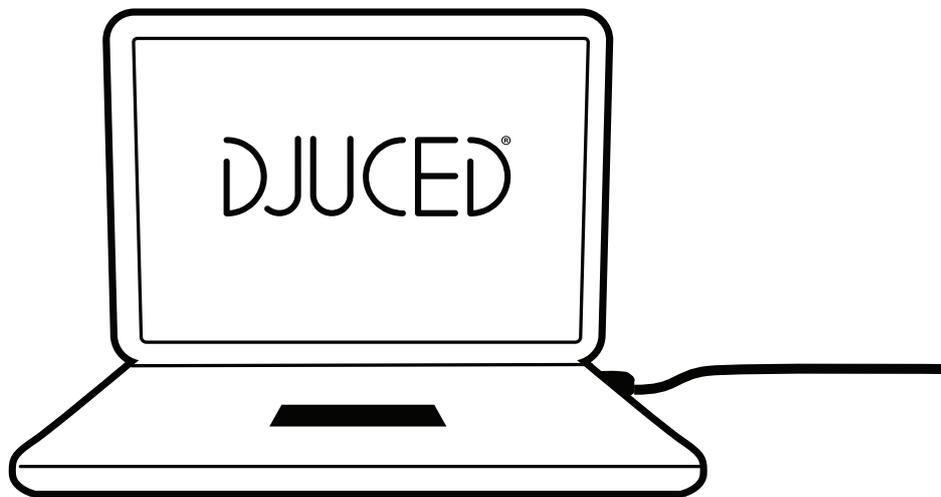
Serato DJ Lite をダウンロードしてインストールします。



注: DJControl Inpulse 500 には Serato DJ Lite のライセンスが含まれていますが、Serato DJ Pro のライセンスは含まれていません。Serato DJ Lite でなく Serato DJ Pro をインストールした場合、Serato DJ Pro は 試用期間中のみ DJControl Inpulse 500 でお使いいただけます。試用期間の終了後も Serato DJ Pro をご使用になりたい場合は、Serato DJ Pro のライセンスをご購入いただく必要があります。

2. DJUCED®

<https://www.djuced.com/hercules> にアクセスします。



DJUCED®をダウンロードしてインストールします。

3. Hercules ドライバ

以下にアクセスしてください:

<https://support.hercules.com/product/djcontrolinpulse500/>

お使いのコンピュータの OS 用のドライバパックをダウンロードします。

- macOS® の場合: HDJCSeries Mac
- Windows® の場合: HDJCSeries PC

Windows® で DJControl Inpulse 500 を WASAPI モードに比べてレイテンシーが低く、より安定している ASIO モードで使用するにはドライバが必要です。

また、このドライバを使うことで、DJControl Inpulse 500 をテストし、Windows® と macOS® の両方でファームウェアのバージョンを確認することもできます。

4.3. DJUCED® を使い始める

1. 検知

DJUCED® が起動すると、ソフトウェアにコントローラーが検出されたことを示す「DJCONTROL INPULSE 500」というメッセージが表示されます。



2. 接続

ソフトウェアの初回起動時には、DJUCED[®] がヘッドフォンとアクティブスピーカーの接続方法を案内してくれます（外部アクティブスピーカーがない場合は、コンピュータに内蔵されているスピーカーを使用することもできます）。



3. オーディオ設定

DJUCED[®] のサウンドカードの設定を変更するには、画面右上の歯車のアイコン^{⚙️}をクリックして設定メニューを開きます。

設定メニュー内にあるオーディオメニューでは、サウンドカードを選択してヘッドフォンとスピーカーの出力を割り当てることができます。

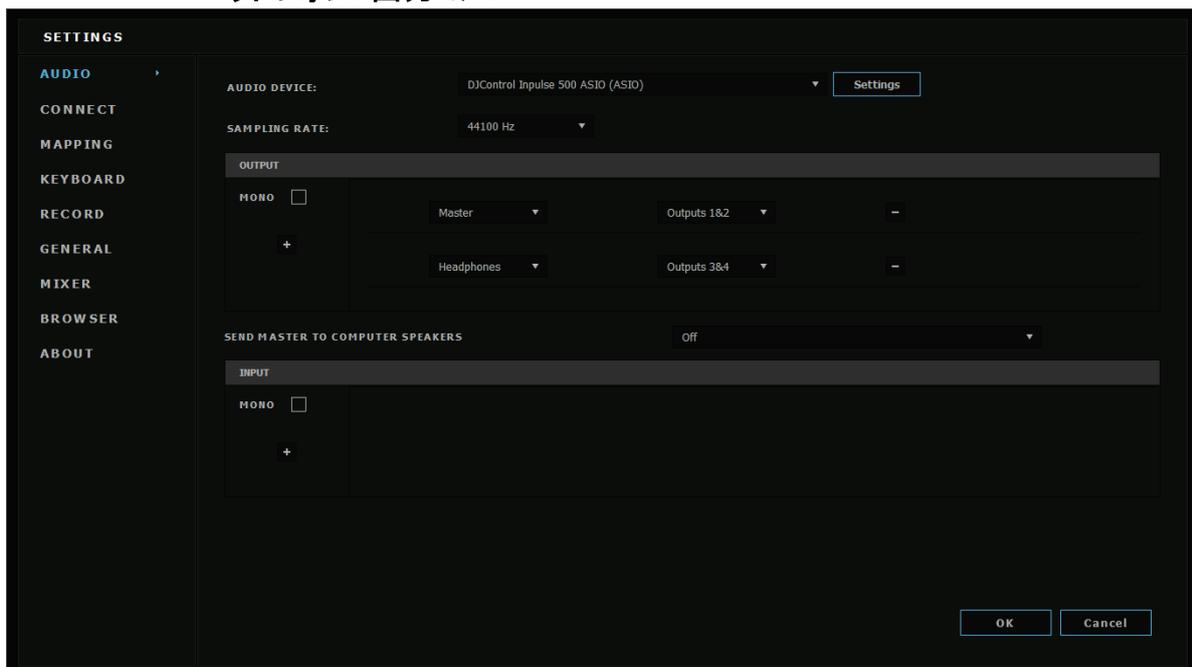
Windows[®] での標準的なセットアップは以下の通りです:

オーディオデバイス: DJControl Inpulse 500 ASIO (ASIO)

出力:

マスター: 出力 1/2

ヘッドフォン: 出力 3/4



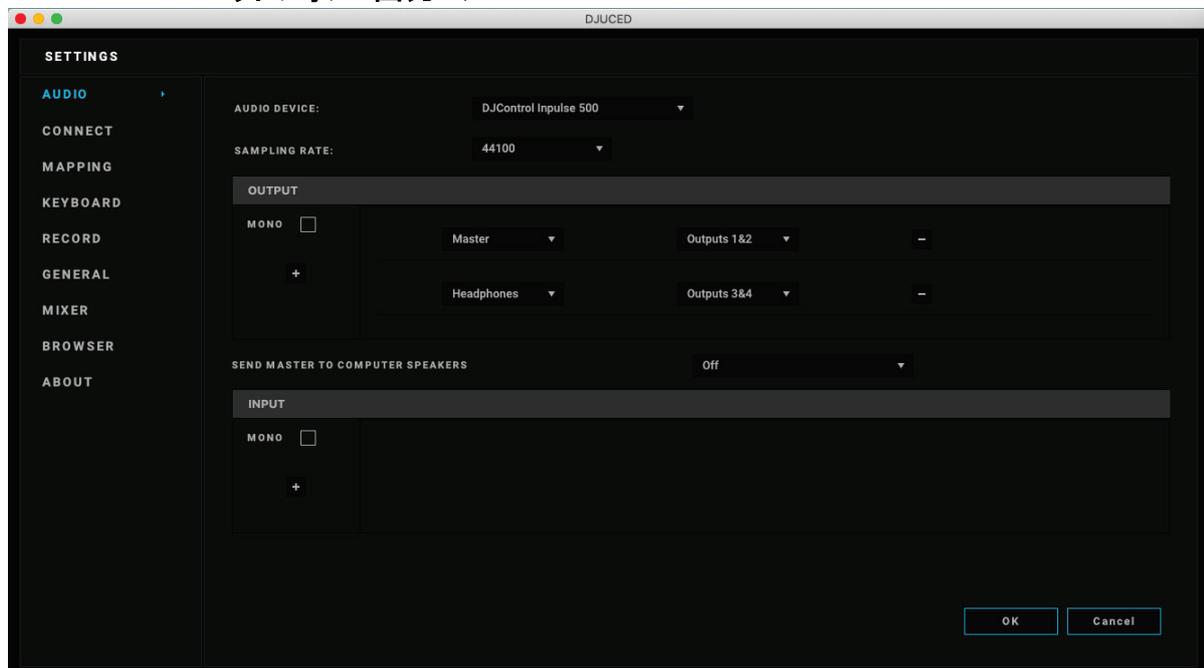
macOS® での標準的なセットアップは以下の通りです:

オーディオデバイス: DJControl Inpulse 500

出力:

マスター: 出力 1/2

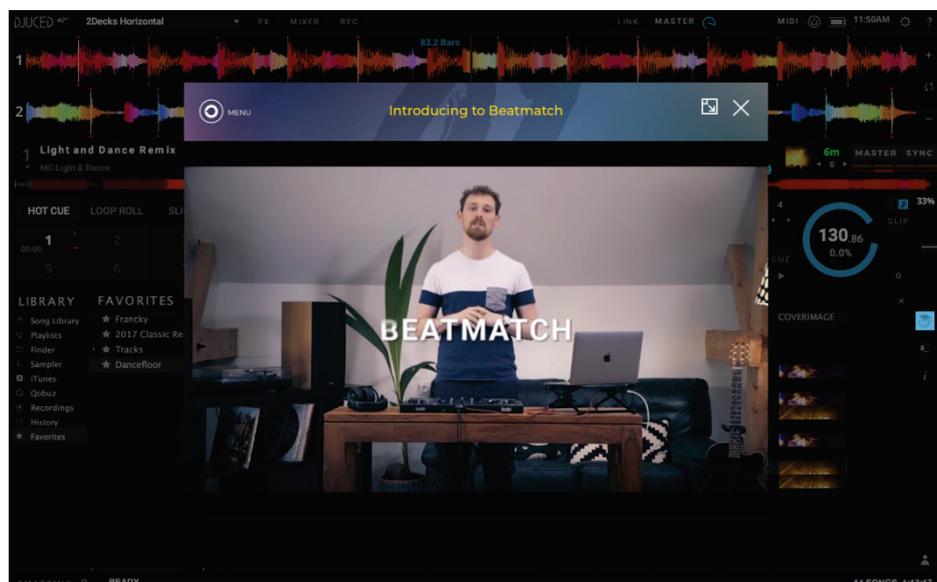
ヘッドフォン: 出力 3/4



DJControl Inpulse 500 は、ハードウェアモード（ハードウェアミキシング）でオーディオ入力をミキシングします。ソフトウェアのオーディオメニューで入力（1-2 = Aux と Mic）を有効にする必要はありません。

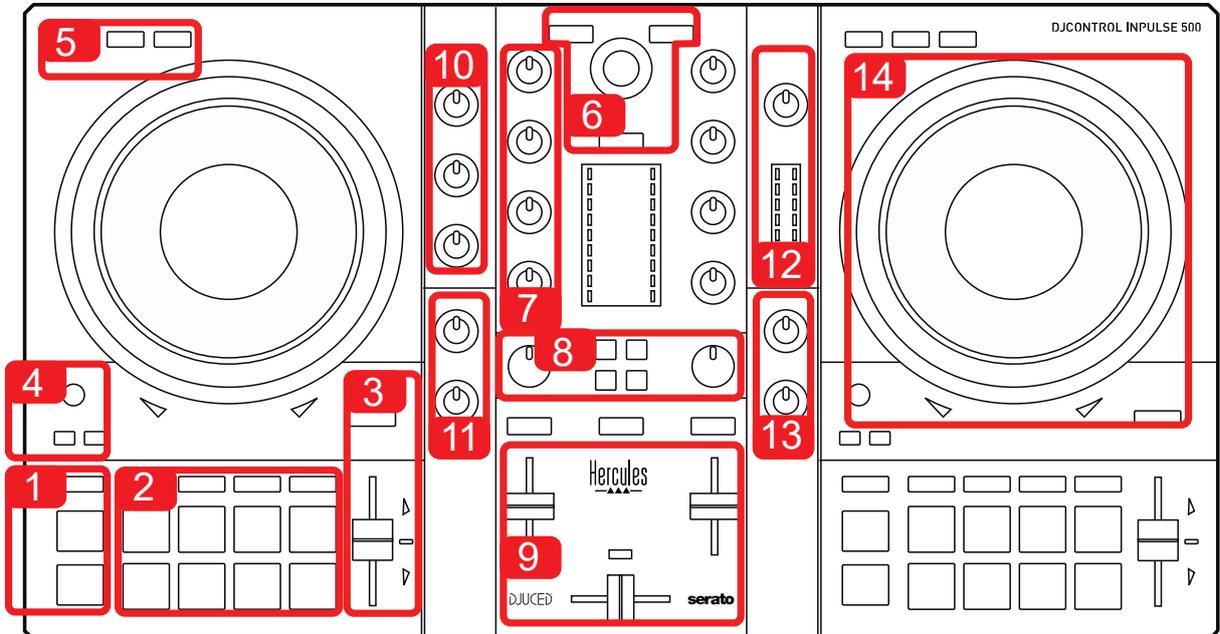
4.4. Hercules DJ Academy

DJUCED® に内蔵されている Hercules DJ Academy のビデオチュートリアルには、オーディオライブラリの右にあるアカデミー帽子🎓のアイコンをクリックすることでアクセスできます。

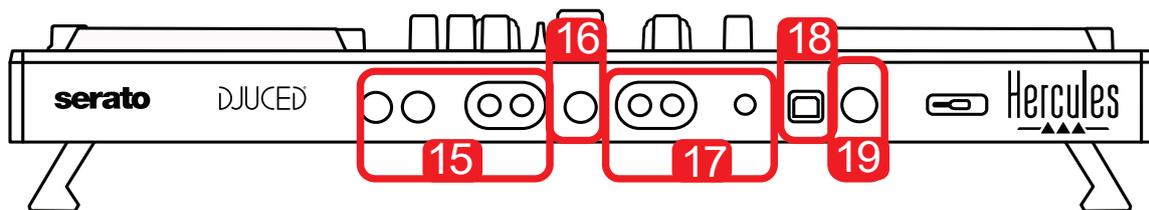


5. 機能概要

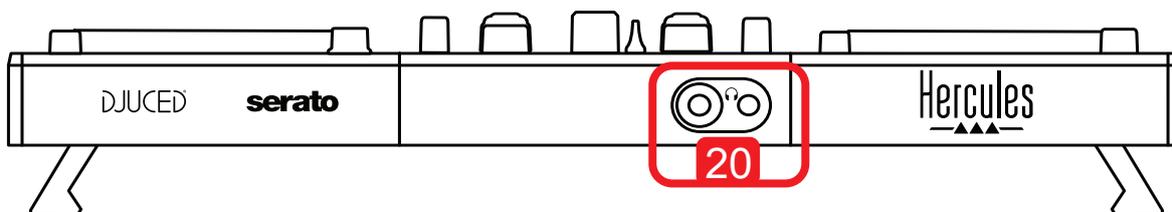
5.1. DJControl Inpulse 500 の一般概要



1. トレースボタン: 再生/一時停止、キューポイント、SHIFT
2. パフォーマンスパッド
3. ビートマッチのヘルプ付きテンポフェーダー（赤い矢印が点灯）、元のテンポを表示する緑の LED、および SYNC（同期）ボタン
4. Loop In/Out（ループの開始/終了）、ループのサイズ、Reloop（ループの終了）
5. モード: Vinyl（スクラッチ）、Slip、Quantize
6. ミュージックライブラリのナビゲーション、対応するデッキにトラックをロードするためのボタン、アシスタント、およびエネルギーレベル（DJUCED® の場合）またはリズム（Serato の場合）を表示するバックライト付きリング。
7. ゲインと 3 バンドイコライザー（HIGH / MID / LOW）
8. Filter/FX: フィルターとエフェクト
9. ボリュームフェーダー付きミキシング、クロスフェーダー、および 3 種類のクロスフェーダーカーブから選択できるスイッチ
10. マイク入力用のマイクボリュームと 2 バンドイコライザー（ハードウェア機能 = 使用ソフトウェアに依存しません）
11. 補助入力に対する Aux（補助）入力ボリュームとフィルター（ハードウェア機能 = 使用ソフトウェアに依存しません）
12. マスターボリュームノブとマスターボリューム VU メーター（ハードウェア機能 = 使用ソフトウェアに依存しません）
13. ヘッドフォンボリュームつまみ、ヘッドフォンで何を聴くかを選択できる Cue/Master つまみ（ハードウェア機能 = 使用ソフトウェアに依存しません）。
14. ビートマッチヘルプ（赤い矢印が点灯）付き静電容量式タッチ対応ジョグホイール

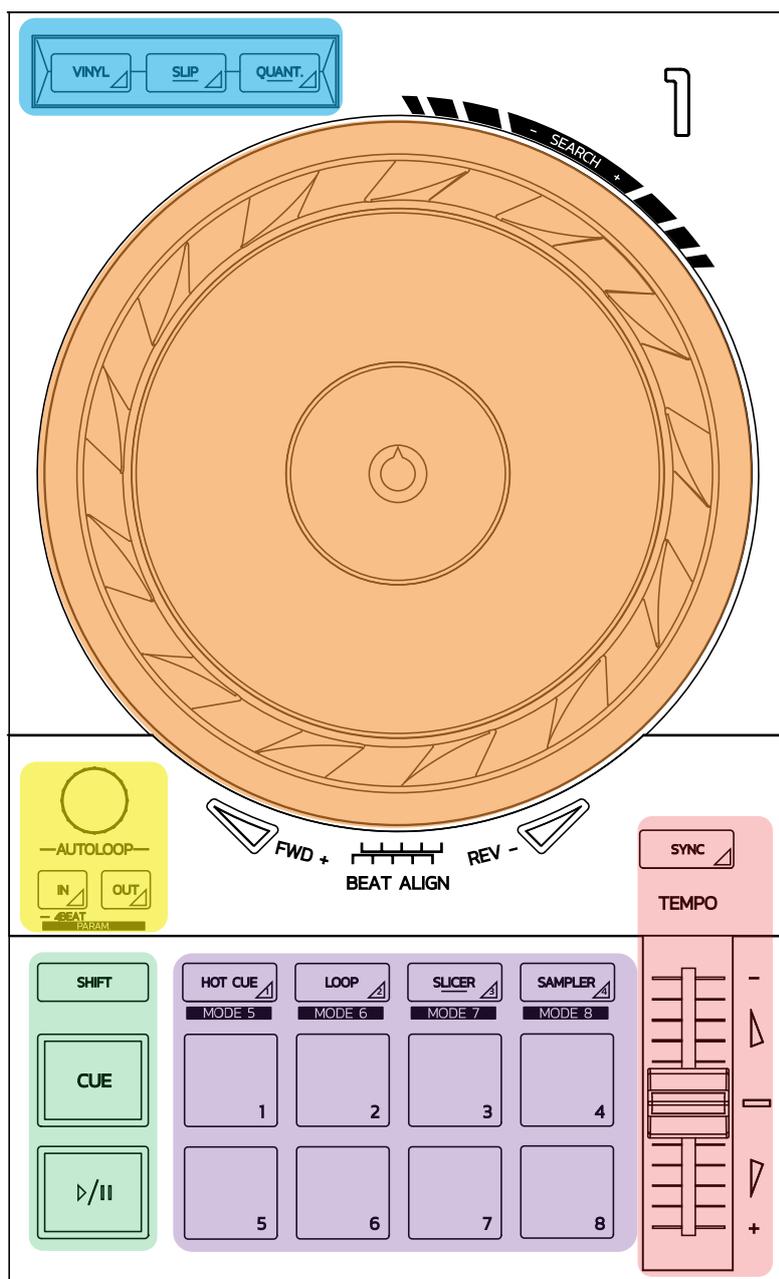


15. アクティブスピーカー接続用 MASTER 出力 (または Main もしくは Mix) = チャンネル 1-2 (RCA x 2, 6.35 mm モノラルジャック x 2)
16. MIC (マイク) 入力 (6.35 mm モノラルジャック): バランス入力、バランスマイクとアンバランスマイクの両方と互換性あり
17. AUX (補助) ステレオ入力 (RCA x 2, 3.5 mm ステレオミニジャック x 1)
18. USB ポート (タイプ B)
19. Hercules Add-On Reserved: 予約済み拡張ポート



20. ステレオヘッドフォン出力 (6.35 mm ステレオミニジャック + 3.5 mm ステレオジャック)

5.2. デッキ



ループコントロール

In = Loop In: ループ開始のマーカを挿入します。

In (長押し): 4 ビートのループを開始します。

Out = Loop Out: ループの終わりのマーカを挿入し、ループの再生を開始します。

Shift+In/Shift+Out: ループの長さを 2 で割ります/2 倍にします。

Autoloop: エンコーダを回すとループの長さが変わります。

ループを終了するには:

- Serato 内で: エンコーダ = Reloop を押します。
- DJUCED®で、Out ボタンを押します。

トランスポートボタン

再生/一時停止:トラックを再生/一時停止します。

Cue: 停止時に、トラックの現在位置にマーカーを挿入します。再生時は、この位置に再生を移動します。

Shift: このボタンは、他のボタンと組み合わせて使用します - たとえば、Shift+Cue = 最初に戻る、Shift+Hot Cue = Hot Cue を消去する、Shift+Sample = サンプルの再生を停止する、など。

再生モード

Vinyl (または Scratch): ジョグホイールをビニールモードに切り替え、ジョグホイールの上に手を置いてスクラッチできるようにします。

Shift+Vinyl: DJUCED® では、Shift+Vinyl モードでジョグホイールを端のリングを使って回すと、Beatjump 効果を得ることができます。

Slip: トラックを、バックグラウンドで通常の方法で再生するモードです。スクラッチの終わりには、スクラッチしなかった場合のポイントに戻ることで、トラックの元のフレーズをキープします。

- Serato DJ Lite には Slip モードは搭載されていませんが、Serato DJ Pro には Slip モードが搭載されています。
- DJUCED® には、Slip モードが搭載されています。

Quantize: ビートグリッド上のアクションをマークで並べるモードです。サンプルのトリガーやキューポイントの配置を、トラックのリズムと同期させることができます。

- Serato DJ Lite には Quantize モードは搭載されていませんが、Serato DJ Pro には Quantize モードが搭載されています。
- DJUCED® には、Quantize モードが搭載されています。

Shift+Quantize: Serato では、Shift+Quantize でピッチスケールを変更します (例: +8%、+16%、+50%)。

テンポコントロール (ピッチ/BPM)

テンポフェーダー (ピッチフェーダー): トラックの再生速度を調節します。

Shift+tempo guide: Serato では、速度を変えずにテンポフェーダーを動かし、テンポのスケールをシフトさせることができます (たとえば、-8% - +8% のテンポスケールを 0 - +16% に切り替えるなど)。

Tempo guide: 他のデッキのトラックと同じ BPM で再生するために、テンポフェーダーをどの方向に動かすべきかを示す光る矢印です。

Sync ボタン: 他のデッキで再生しているトラックの BPM 値に合わせて、トラックのスピードを瞬時に調節します。

- DJUCED® では、Sync は「スレーブ」トラックの BPM 値が「マスター」トラックの BPM 値に連続的にロックされます。
- Serato では、Sync は 1 回のみ実行される動作です。そのため、BPM 値は瞬時に調節されますが、再生中の他のトラックの BPM 値にロックされることはありません。

パッド

パッド 1~8: Serato DJ Lite では、パッド 1~4 で選択したモードのアクションを実行し、パッド 5~8 で Reverse、Rewind、Fast Forward、Censor のアクションを実行します。

DJUCED® と Serato DJ Pro では、パッド 1~8 で選択したモードのアクションを実行します。

パッドモード

	DJUCED®	Serato DJ Lite	Serato DJ Pro*
1	Hot Cue	Hot Cue	Hot Cue
2	Loop Roll	Manual Loop	Manual Loop
3	Slicer	Auto Loop	Slicer
4	Sampler	Sampler	Sampler
5	TonePlay	-	Pitch Play
6	FX	-	Loop Roll
7	Slicer Loop	-	Auto Loop
8	Beat Jump	-	Beat Grid

* Serato DJ Proのライセンスは含まれていません。

- Serato DJ Lite ではモード 1~4 (Hot Cue、Loop、Slicer、Sampler) で、パッド 1~4 上で次のモードが有効になります: 1 = Hot Cue、2 = Manual Loop (Loop In、Loop Out、ReLoop)、3 = Autoloop、4 = Sampler。
- Serato DJ Pro ではモード 1~8 で、パッド上で次のモードが有効になります: 1 = Hot Cue、2 = Manual Loop、3 = Slicer、4 = Sampler、5 = Pitch Play、6 = Loop Roll、7 = Autoloop、8 = Beatgrid。
- DJUCED® ではモード 1~8 で、パッド上で次のモードのモードが有効になります: 1 = Hot Cue、2 = Loop Roll、3 = Slicer、4 = Sampler、5 = TonePlay、6 = FX、7 = SlicerLoop、8 = BeatJump。

ジョグホイール

ジョグホイールでは、タッチした部分（リングの〔端〕やトップ部分）や、選択したモード（Vinyl モードの有効/無効）によって、トラック内を移動したり、再生を変更したりできます。

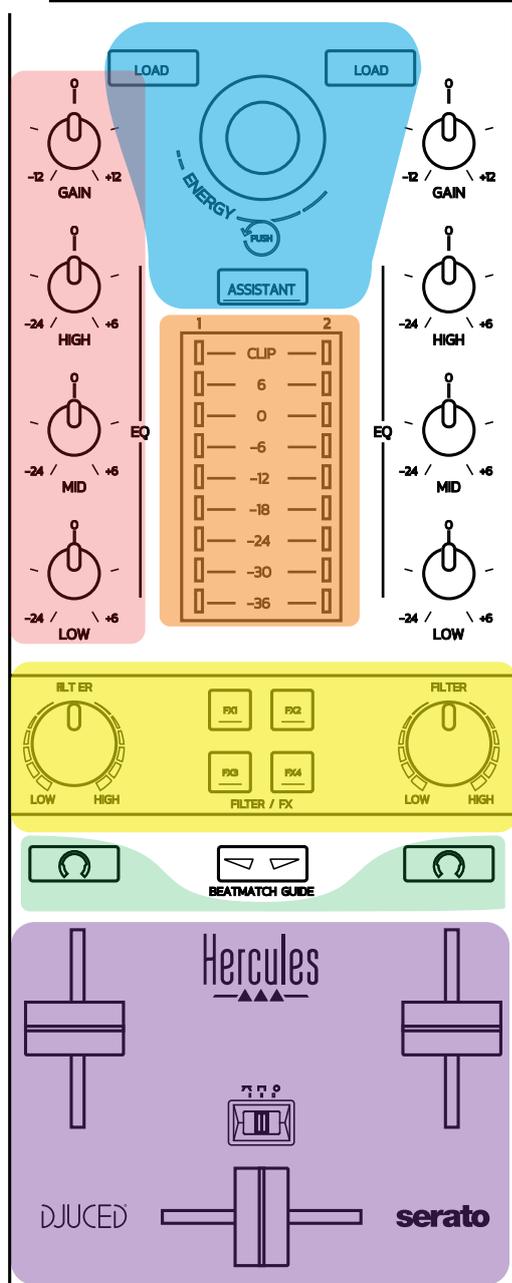
Serato DJ Lite および Pro 内:

- Vinyl モード無効
 - 再生中: 再生速度を上げたり、遅くしたりします (= pitch bend)。
 - 音楽を再生していない場合: ジョグホイールのリング（端）をタッチすると動きは低速、ジョグホイールのトップ部分に触れると中速になります。
 - Shift+ジョグホイール:beatjump = 非常に速い動き。
- Vinyl モード有効
 - 再生中: ジョグホイールのトップ部分で scratch、ジョグホイールのリング（端）で pitch bend。
 - 音楽を再生していない場合: ジョグホイールのリング（端）をタッチすると動きは低速、ジョグホイールのトップ部分に触れると中速になります。
 - Shift+ ジョグホイール: beatjump = 非常に速い動き。

DJUCED® 内

- Vinyl モード無効
 - 再生中: 再生速度を上げたり、遅くしたりします (= pitch bend)。
 - 音楽を再生していない場合: ジョグホイールのリング（端）をタッチすると動きは低速、ジョグホイールのトップ部分に触れると中速になります。
 - Shift+ジョグホイールのリング（端）: beatjump = 非常に速い動き。
- Vinyl モード有効
 - 再生中: ジョグホイールのトップ部分で scratch、ジョグホイールのリング（端）で pitch bend。
 - 音楽を再生していない場合: ジョグホイールのリング（端）またはトップ分をタッチすると動きは中速になります。
 - Shift+ジョグホイールのリング（端）: beatjump = 非常に速い動き。

5.3. ソフトウェアミキシング



ナビゲーションコントロール

ロータリーエンコーダー: エンコーダーを回す = オーディオライブラリ内を移動します。エンコーダを押す = レベルを変更します。

ロータリーエンコーダー周りのライトリング: DJUCED® ではマスタートラックのエネルギーレベルを表示し、Serato ではリズムを表示します。

Load: デッキ 1 または 2 にトラックを読み込みます。

Assistant: DJUCED® では、再生に適したトラックをサジェストする Assistant を表示し、Serato では Automix (トラックの自動ミキシング) を有効にします。

ゲインおよび EQ ライン

Gain: デッキ 1 または 2 のゲイン (= ボリュームフェーダーが考慮される前のボリューム)。

3 バンドイコライザー: 各デッキの HIGH (高音)、MID (中音)、LOW (低音) を調節することができます。

デッキ VU メーター

デッキごとに 9 段階のレベルを持つ VU メーター。

Filter/FX

Filter: 各デッキのローパスフィルターとハイパスフィルター (FX1, 2, 3, 4 がオフの場合に有効)。

FX1~FX4 ボタン: デッキ 1 または 2 のエフェクト FX1~FX4 (Filter つまみで変調) を適用します。

- DJUCED®では、Settings>Mixer で FX1, 2, 3, 4 を選択します。

- Serato では、FX1, FX2, FX3 はバーチャルデッキのスロットにロードされるエフェクトであり、FX4 は Beats の設定を有効にしてエフェクトに割り当てることができます。

モニタリング

ヘッドフォンのマークが付いたボタンを使うと、Cue/Master つまみ (ヘッドフォン用) が Cue モードに設定されている場合、対応するデッキの音をヘッドフォンで再生することができます。

ミキシング

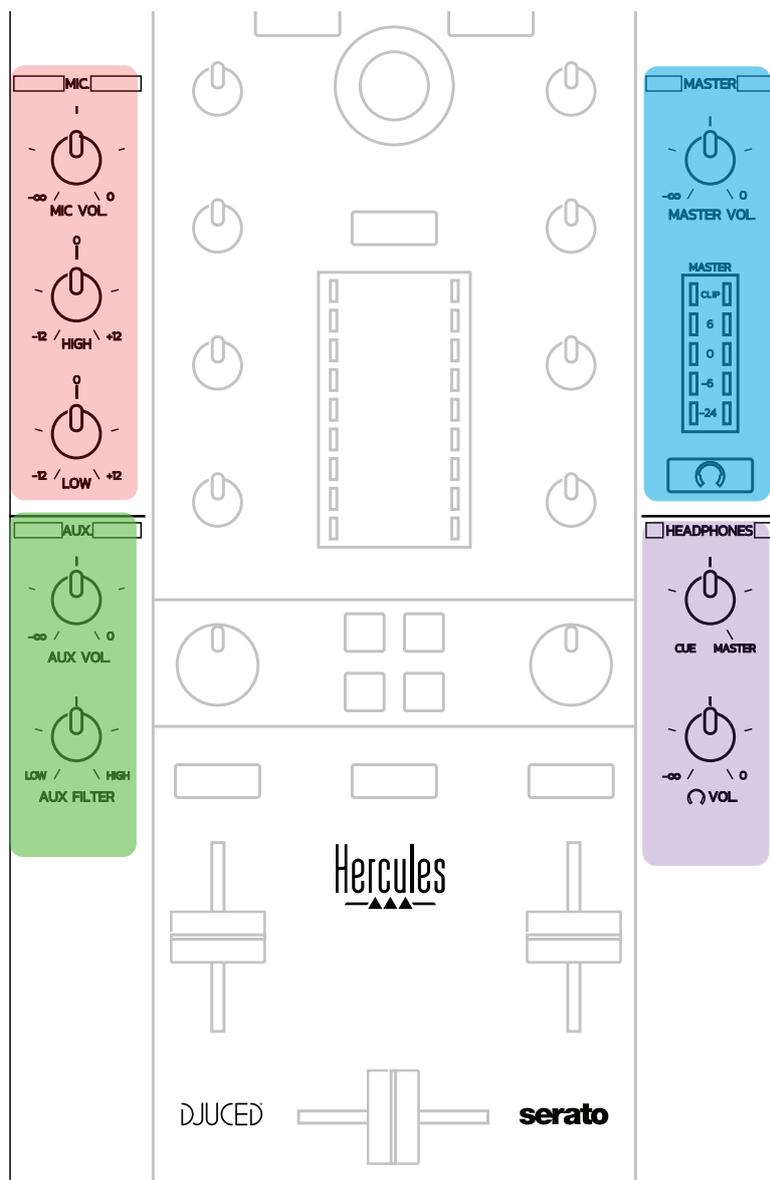
ボリュームフェーダー: バーチャルデッキ 1 と 2 のボリュームを調節します。

クロスフェーダー: デッキ 1 とデッキ 2 との間のミキシングを調節します。

クロスフェーダーカーブ: クロスフェーダーカーブの 3 つのモードを選択できるスイッチ。

- Mix = 2 つのデッキのプロGRESSIVEなミキシング。
- Scratch = 2 つのデッキの高速なミキシング。
- Off = クロスフェーダーを無効にします (ボリュームフェーダーのみを使用してミキシングを行う用)。

5.4. ハードウェアミキシング: 入出力



マイク入力

MIC VOL: マイクのボリュームを調節します (ハードウェア調節)。

ライトリング: オフ = オーディオ信号なし / 緑 = オーディオ信号 / 赤 = オーディオ信号飽和。

2 バンド EQ: マイクの HIGH (高音) と LOW (低音) を調節できます。

Aux (補助) 入力

AUX VOL: Aux 入力のボリュームを調節します (ハードウェアによる調節)。

ライトリング: オフ = オーディオ信号なし / 緑 = オーディオ信号 / 赤 = オーディオ信号飽和。

AUX FILTER: Aux 入力用フィルター。

Master 出力

MASTER VOL: マスターボリュームをコントロールします（ハードウェア調節）。

VU メーター: Master 出力のボリュームレベルを表示します（RCA 出力 x 2、6.35 mm モノジャック出力 x 2）。

ヘッドフォンアイコン付きボタン: Master 出力をヘッドフォンで再生します。

ヘッドフォン出力

Cue/Master つまみ: ヘッドフォンで再生される信号を、後続トラックをモニタリングするための Cue（ボリュームフェーダー上部にある 2 個のボタンで選択された機能に応じてデッキ 1 または 2）と Master 出力の間で調節します。

ヘッドフォンボリューム: ヘッドフォン出力の音量を調節します。

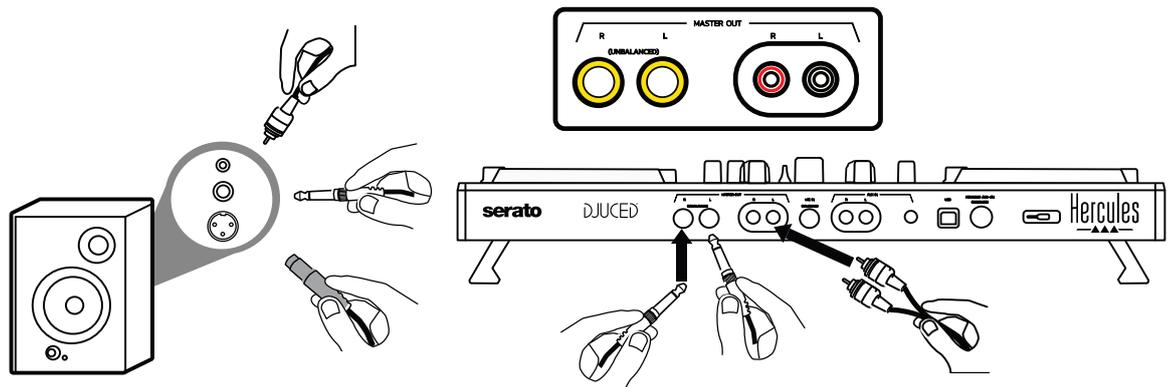
5.5. マルチチャンネル サウンドカード

コントローラーはマルチチャンネルサウンドカードを内蔵しているため、以下を行うことが可能です:

- オーディエンス用スピーカーでミックスを再生 (Master 出力)。
- 準備している次のトラックをヘッドフォンでモニタリング (ヘッドフォン出力)。
- マイクおよび/またはラインレベル出力のあるデバイスをオーディオソースとして使用。

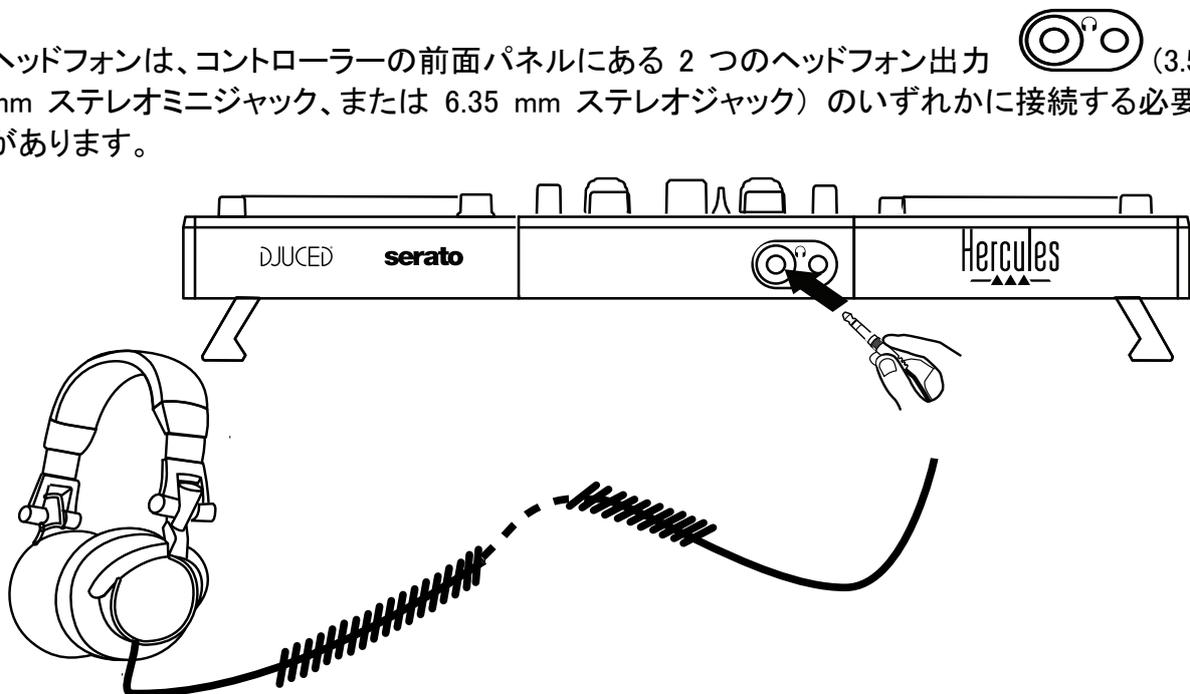
1. Master 出力のスピーカー(= 出力 1/2)

スピーカーは、コントローラーの背面パネルにある 2 つのステレオスピーカー出力のいずれか 1 つに接続する必要があります: RCA x 2、または 6.35 mm モノラルジャック x 2。



2. ヘッドフォン (=出力 3/4)

ヘッドフォンは、コントローラーの前面パネルにある 2 つのヘッドフォン出力 (3.5 mm ステレオミニジャック、または 6.35 mm ステレオジャック) のいずれかに接続する必要があります。

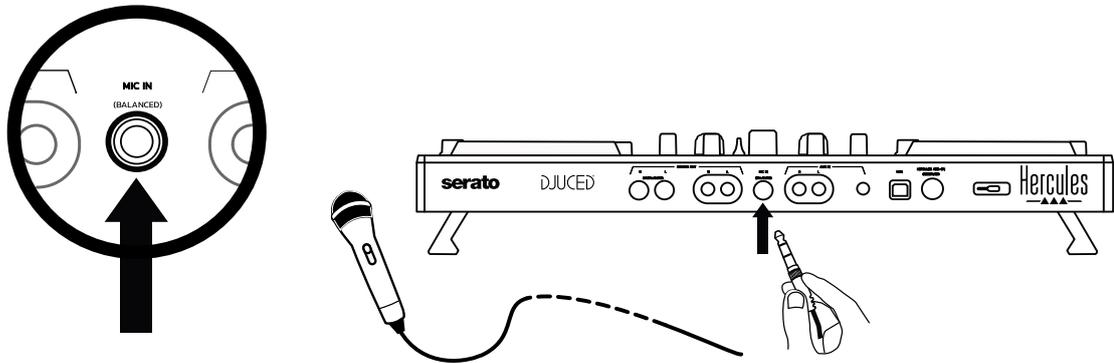


デフォルトの設定では、ヘッドフォンの出力は、Serato DJ Lite や DJUCED® を含む、すべての DJ ソフトウェアでトラックをモニタリングできるように、チャンネル 3/4 に割り当てられています。

ただし、iTunes や Media Player、VLC など DJ 以外のソフトウェアで再生された音楽をヘッドホンで聴くには、Master VU メーターの下にあるヘッドフォンアイコンのボタン  を押して、Master 出力をヘッドホンで再生する必要があります。

3. Microphone (= Mic/Aux 1-2 入力)

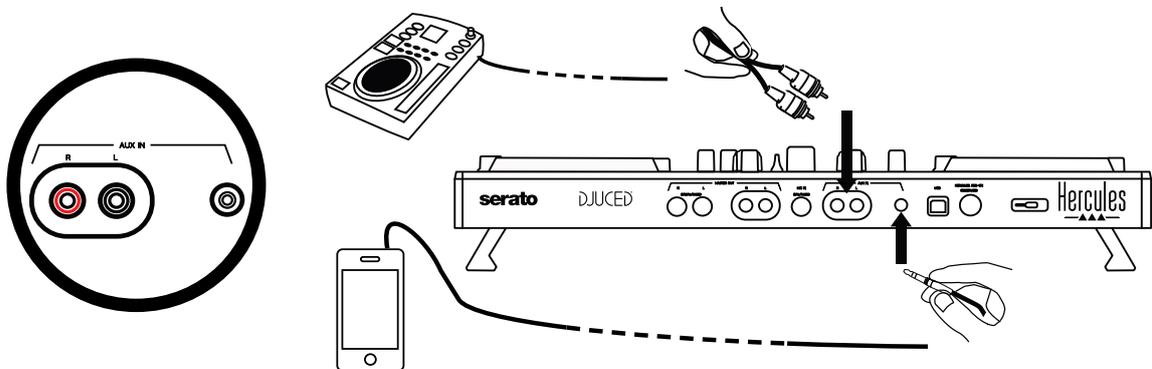
マイクをコントローラーの背面パネルにある Mic In 入力 (6.35 mm ジャック) に接続します。



マイク入力はバランス (対称) になっており、バランスマイクとアンバランスマイクのどちらでも接続することができます。バランスマイクを使用するメリットは、呼吸音などのノイズが少なく、より良い音質が得られることです。

4. 補助 (= Mic/Aux 1-2 入力)

スマートフォンや CD プレーヤーなどの補助オーディオソースを、コントローラーの背面パネルの AUX IN 入力 (RCA 入力 x 2、3.5 mm ステレオミニジャック入力 x 1) に接続します。



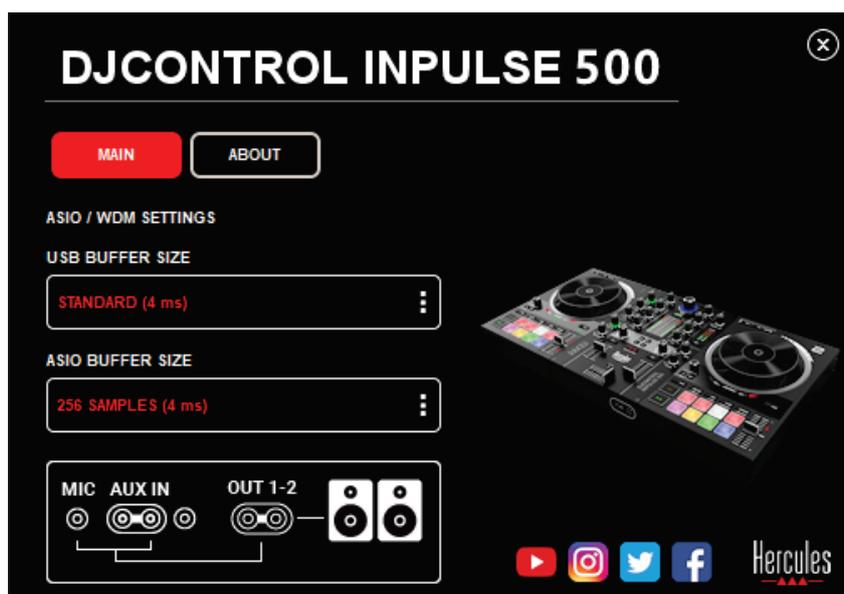
6. ドライバおよびコントロールパネル

DJControl Inpulse 500 は、USB Audio および USB MIDI プラグアンドプレイの DJ コントローラーであり、Windows® と macOS® の両方で、DJUCED® ソフトウェアのドライバなしでもお使いいただけますが、ドライバとコントロールパネルを含むパッケージも付属しており、これらをインストールすることでコントローラーを最大限に活用することができます。

6.1. ASIO ドライバ (Windows® 用)

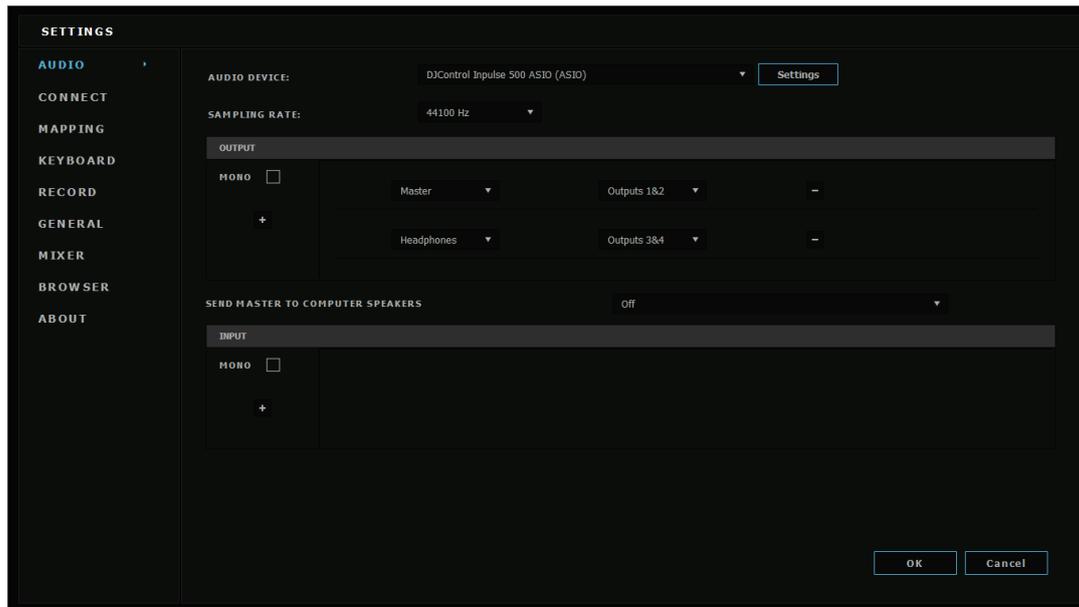
ASIO ドライバを含むドライバパックは、Hercules のサポートサイト (<https://support.hercules.com>) で入手可能です。ASIO は、Windows® の WASAPI モードに比べ、オーディオのレイテンシーを減らすことができます。

Windows® では、Hercules DJControl Inpulse 500 のコントロールパネルで ASIO バッファのサイズを調節することで、レイテンシーを調整できます。



ASIO 設定を変更する手順は以下の通りです:

- まず、USB のバッファサイズを Standard (4ms) に設定します。
- ASIO バッファサイズを選択します。例: 256 Samples (4 ms) など。
- DJ ソフトウェア (Serato DJ Lite または DJUCED®) を起動します。
- DJUCED® で、DJControl Inpulse 500 ASIO (ASIO) オーディオデバイスを選択します:



ソフトウェアが ASIO デバイスを読み込んだ後は、コントロールパネルで ASIO 設定を変更することはできなくなります。

DJ ソフトウェアのオーディオにクリッピングノイズ、クリック音、クラック音などが聞こえる場合は、バッファのサイズを大きくしてレイテンシーを調節する必要があります。その際には、DJ ソフトウェアを終了し、テストごとに ASIO バッファの値を 1 ずつ調節してください：

- レイテンシーを減らすには、バッファのサイズを小さくします。
- オーディオのクリッピングやアーティファクトが発生した場合は、バッファのサイズを大きくします。

お使いのシステムに最適なバッファサイズが見つかるまで、この手順を繰り返します。

6.2. ファームウェアのアップデート

DJControl Inpulse 500 用ドライバは、コントローラーのファームウェアを更新します。Hercules DJ ドライバがインストールされていて、なおかつ最新の状態である場合は、必要に応じてファームウェアを更新する方法が画面に表示されます。

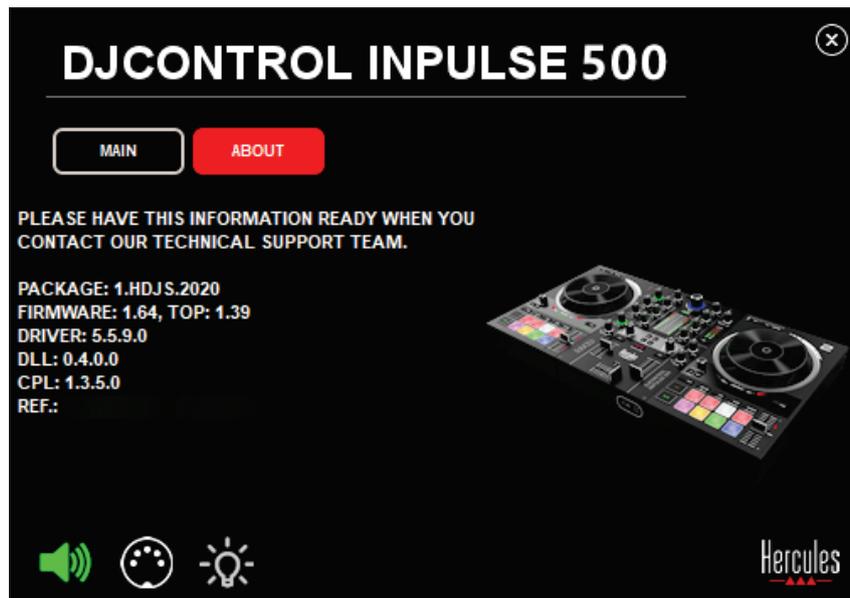
ドライバはこちらから入手できます：<https://support.hercules.com>

コントロールパネルの「ABOUT」タブには、コントローラー上のファームウェアのバージョンと、コンピュータにインストールされているドライバが表示されます。Hercules のテクニカルサポートチームに連絡する必要がある場合は、ここに表示されている情報が必要になります。

6.3. コントロールパネルで DJ コントローラーをテスト

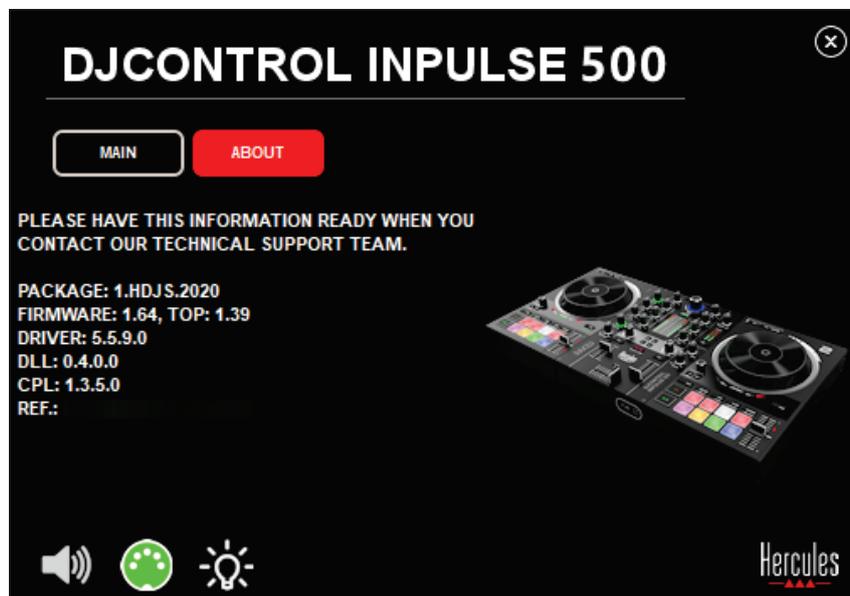
DJControl Inpulse 500 のコントロールパネルでは、DJ コントローラーのオーディオ、MIDI、およびライティングをテストすることができます（「ABOUT」タブ）。

1. オーディオテスト



DJ コントローラーのオーディオをテストするには、コントロールパネルの左下にあるスピーカーのアイコンをクリックします。テスト中はアイコンが緑色で点灯し、プログラムがコントローラーの出力（スピーカーとヘッドフォン）でサウンドを再生します。

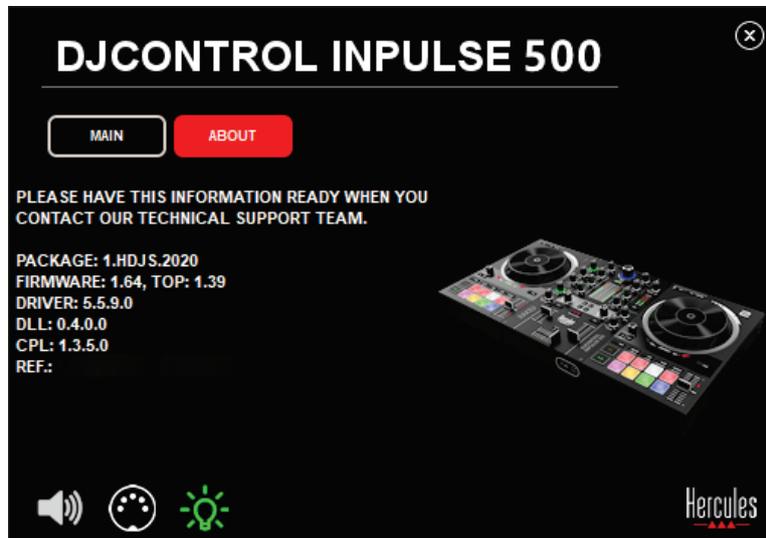
2. MIDI テスト



DJ コントローラーでテストしたいボタンを押してください: コントロールパネルの左下にあるDIN コネクターのアイコン（5 個のドット）が緑色に変われば、MIDI コマンドが受信されていることを示しています。

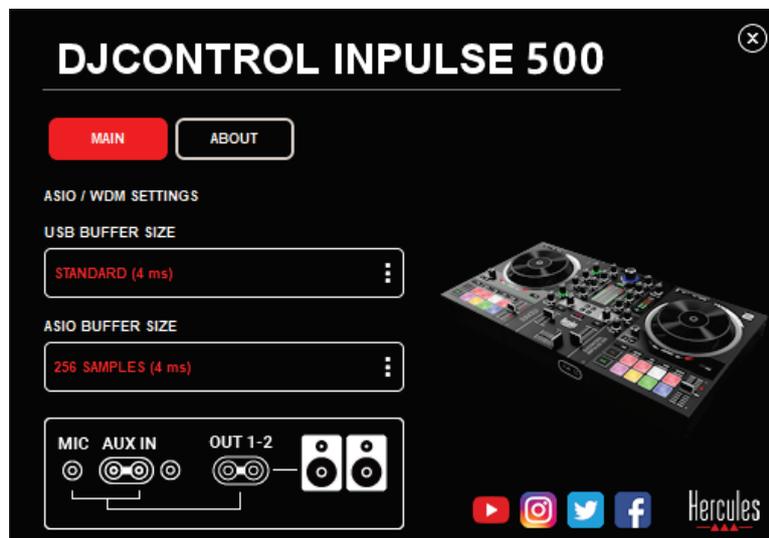
3. ライティングテスト

コントロールパネルの左下にある電球のアイコンをクリックすると、コントローラーの LED が点灯します。LED が点灯しているときは、アイコンが緑色になります。



6.4. オーディオ入力を無効にする

マイクと補助オーディオ入力は、デフォルトの設定ではハードウェアミキシング経由で有効になっています（つまり DJ ソフトウェアを経由しない）。入力を無効にしたい場合は、MIC と AUX IN のアイコンをクリックします（これらの入力は、出力 1/2 にリンクされています）。



入力からのサウンドが出力 1/2 で再生されなくなると、このアイコンに赤い X が表示されます。

7. デモモード

このモードは、コントローラーを USB 電源に接続すると自動的にライトショーが起動されるモードです。この場合、DJ コントローラーは動作していませんが、デモモードになっており、デモシーケンスが繰り返し再生され続けます。

8. ヒントやコツ

8.1. すべての LED をオンにする

デッキ 1 と 2 の Loop In と Loop Out ボタンを押します。

8.2. コントローラー脚下の 4 個 LED のオン/オフ切り替え

デッキ 1 のパッド 1 と 5 と、デッキ 2 のパッド 4 と 8 を押します。

8.3. Serato DJ Lite 内

1. テンポスケールの変更 (8%→16% または 50%)

Shift + Quant ボタンを押します。

2. 同じ精度を保った状態でテンポスケールを動かす

バーチャルデッキで Sync モードを有効にし、Shift ボタンを押してテンポフェーダーを動かします: ソフトウェアは Shift ボタンが押されている間はテンポフェーダーの動きを停止し、Shift ボタンが離されるとテンポフェーダーの動きを再開します。

例: -8%~+8% のテンポスケールから +8%~+24% のテンポスケールへの切り替えなど。

- 1) Sync を有効にします。
- 2) テンポフェーダーを一番下まで動かします (+8%)。
- 3) Shift ボタンを押してテンポフェーダーを一番上まで動かします: ソフトウェアは +8% のままです。
- 4) Shift ボタンを離します: 最小の位置 (一番上) ではテンポは +8% で、最大の位置 (一番下) ではテンポは +24% になります。

9. FAQ

9.1. ヘッドフォンから音が出ない。

コントローラーの前面にヘッドフォンが接続されていることを確認してください。他の場所にヘッドフォンを接続することはできません。

デフォルトの設定では、ソフトウェアの初回起動時に 2 つのバーチャルデッキのモニタリングが有効になっています。その後、ヘッドフォンで聴きたいデッキ、あるいはマスター出力を選択することができます。

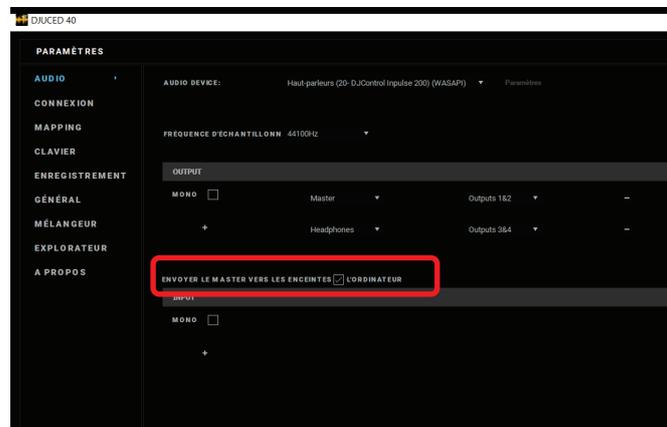
9.2. スピーカーから音が出ない。

スピーカーがコントローラーの背面パネルの RCA x 2 または 6.35 mm ジャックコネクタ x 2 に接続されていることを確認してください。

9.3. ノートパソコンのスピーカーのどちらからも音が出ない。

コントローラーは、ノートパソコンのスピーカーではなく、内蔵のオーディオインターフェースを使って音楽を再生するように設計されています。

Serato DJ Lite では、DJControl Inpulse 500 にスピーカーを接続する必要があります。DJUCED[®] で、ノートパソコンに内蔵されているスピーカーを使用したい場合は、DJUCED[®] のオーディオ設定で「SEND THE MASTER TO THE SPEAKERS」を選択してください。



9.4. ヘッドフォンとノートパソコンのスピーカーのどちらからも音が出ない。

コントローラーは、ノートパソコンのヘッドフォン出力やスピーカーでなく、内蔵のオーディオインターフェースを使って音楽を再生するように設計されています。

Serato DJ Lite では、スピーカーとヘッドフォンを DJControl Inpulse 500 に接続する必要があります。

ノートパソコンに内蔵されているスピーカーを使用する場合は、DJUCED[®] のオーディオ設定で「SEND THE MASTER TO THE SPEAKERS」を選択します。次に、DJControl Inpulse 500 のヘッドフォン出力にヘッドフォンを接続します。ノートパソコンでは、ヘッドフォン出力は内蔵スピーカーと同じ信号を再生するため、ヘッドフォンをノートパソコンに接続した場合、ヘッドフォンで後続のトラックをモニタリングすることはできません。

9.5. アクティブスピーカーを DJ コントローラーに接続できない。

お使いのスピーカーのコネクターが、DJ コントローラーのコネクターと異なる場合は、以下を使用できます:

- 3.5 mm ステレオミニジャックケーブル (別売) とデュアル RCA でマルチメディアスピーカーを接続、または
- XLR x 2 と 6.35 mm ジャックケーブルで PA スピーカーを接続、または
- お使いのスピーカーに対応するその他の形式。

DJControl Inpulse 500 のヘッドフォン出力に接続することで、マルチメディアスピーカーをテストすることができます。DJ コントローラーの Master エリアにあるヘッドフォンのマークが付いたボタンを押すと、ヘッドフォン出力でミックスのサウンドが再生されます。

9.6. DJ コントローラー を USB-C ポートや Thunderbolt 3 ポートに接続するにはどうすればいいですか？

DJ コントローラーを USB-C (または Thunderbolt 3) ポートに接続する方法には、以下の 3 通りがあります:

- DJ コントローラーとコンピュータの間にアダプター (オス USB-C (または Thunderbolt 3) → メス USB タイプ A) を使用することで、DJ コントローラーをコンピュータに接続することができます。安価なアダプターの中には、電源が十分に供給されないものもありますのでご注意ください。
- コンピュータと DJ コントローラーの間に USB-C (または Thunderbolt 3) ドックを使用することで接続できます。USB-C (または Thunderbolt 3) ポート経由でのみ電源を供給するドックでは、十分な電力が得られない場合があるため、ドック専用の電源があることを確認してください。
- 付属の USB ケーブルを USB-C (または Thunderbolt 3) → USB2 タイプ B ケーブルに交換することで接続できます。

10. 商標

Intel[®] および Intel[®] Core は Intel Corporation の商標または登録商標です。

Microsoft[®] Windows[®] 8 および 10 は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Mac および macOS は、米国およびその他の国における Apple, Inc の登録商標です。

Serato DJ、Serato DJ Lite および Serato DJ Pro は Serato Audio Research Limited の登録商標です。

DJUCED[®] ブランドおよび DJUCED[®] のグラフィック要素に関連する権利は Guillemot Corporation に帰属します。

Velvet Sound は Asahi Kasei Microdevices (AKM) の商標です。

ASIO は Steinberg Media Technologies GmbH の商標です。

その他のすべての商標および商号は、本書に記載されており、それぞれの所有者に帰属します。本書に含まれるイラストに法的拘束力はありません。本書に含まれる内容、設計および仕様は通告なしに変更される場合があります、また、各国で異なる場合があります。

11. 著作権

このマニュアルのいかなる部分も、復元システムへのコピー、配信、転送、転写、保存、その他の人間またはコンピュータの言語への翻訳を行うことは禁止します。これは、電子的、機械的、電磁的、手動的その他のいかなる方法においても、Guillemot Corporation S.A.の書面による許可なく行うことはできません。

12. DJUCED[®] および Serato DJ Lite ソフトウェアに適用されるエンドユーザーライセンス契約書

DJ ソフトウェアのインストール時に表示されるエンドユーザー使用許諾契約書をよくお読みください。